

令和7年度 学校経営計画書

石川県立金沢桜丘高等学校
校長 石尾和彦

1 教育目標

- (1) 真理を愛し、知性を磨き、自律的で創造性のある人間を育成する。
- (2) 生徒の能力と個性の伸長をはかり、健全な心身を育成する。
- (3) 自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協調できる情操豊かな人間を育成する。
- (4) 広い視野に立って郷土を愛し、国際性豊かな人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ア 入学当初における生徒の進路希望は、国公立四年制大学が90%を超えており、教職員は一丸となって生徒の進路実現に取り組んでいる。
- イ 多くの生徒が誠実に学校生活に取り組んでおり、学習活動や部活動において成果をあげているが、一方で、勉学と部活動を両立させ、入学当初の進路希望を達成する生徒の割合は、必ずしも十分であるとは言えない。個々の生徒に応じた進路の知識とその希望達成を図るためにには、より一層効率的な進路指導体制を構築する必要がある。
- ウ 「いしかわニュースーパーハイスクール」指定校として、「総合的な探究の時間」の活動や各教科の授業の中で言語活動を重視した教育活動を積極的に展開し、主体的・対話的で深い学びの実践をとおして論理的な思考力と豊かな表現力の育成に取り組んでいるが、実践的な総合知を育み、答えのない問い合わせながら課題解決に取り組む力を涵養するための探究的な学びをさらに充実する必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ア 校訓「質実剛健」のもと、校是「文武両道」を実践する中で、堅実に目標に向かって努力する、心身ともにたくましい人間を育成する。
- イ 「いしかわニュースーパーハイスクール」の取組を充実させるとともに、G I G Aスクール構想に基づくICT機器の活用をすすめ、主体的に自己の将来を考え、グローバルな視点に立って社会に貢献できる有為な人材の育成を図る。
- ウ 生まれ育った郷土や地域社会に関する理解を深めるとともに、防災に対する意識を高め、より良い持続可能な社会の創り手を育成する。

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ア 教職員一人ひとりが学校経営への参画意識をもち、時代の変化に対応した柔軟で組織的な学校運営を目指す。
- イ 教職員一人ひとりが常に自己研鑽に努め、学校全体として質の高い教育活動を実践する。
- ウ 保護者や地域の期待に応え信頼を得られる、開かれた学校を目指す。
- エ 組織運営の合理化・効率化及び業務の平準化に努め、教職員一人ひとりが生徒と向き合う時間が充分にとれる職場環境を整える。

3 今年度の重点目標

- (1) 変化が激しく正解のない社会で活躍し貢献する人材の育成を主眼として、高い志を掲げ、その実現に向け主体的に行動し、難関国公立大学等に果敢にチャレンジする生徒を育てる。
- (2) 校訓「質実剛健」を不思のものとし、挨拶や感謝の心、規範意識やいじめを許さない姿勢など人としての基本を身に付けた、心身ともにたくましく思いやりのある生徒を育てる。
- (3) 校是「文武両道」の実践を目指し、生徒の主体性を育みながら、学ぶ意味や成長する喜びを感じる授業・部活動等の教育活動を通して、明るく活気のある、地域から信頼される学校づくりに努める。
- (4) 組織運営・教職員の働き方の改善などタイムマネジメントの意識を高め、自己研鑽や対話の時間を創り出せるよう、効果的な教育活動を実践する。
- (5) 学校の安全安心を確保するために、全教職員が防災や安全管理の意識を高め、非常時にもしなやかに対応できる資質・能力やシステムを構築する。